

## 写真を読み取る力の育成を目指した高学年児童向けの学習指導

手塚 和佳奈 教職基盤形成コース 教育課題探究プログラム

キーワード：小学校，写真，読み取り，学習指導，メディア・リテラシー

### 1. はじめに

生涯にわたって学び続ける自立した学習者の育成のために、高橋（2022）は、学び方を指導していくことの必要性を指摘している。学習過程のうち、情報の収集の段階では、教科書の読解の仕方やインターネットからの情報の収集の仕方などの学びの技を教える必要があるが、メディアの粒度を下げて考えれば、教科書やインターネット上の情報を構成している、文章・図・表・イラスト・写真・動画などからの情報の収集の仕方を教える必要がある。なかでも写真について、日本の学校教育では、写真の撮影技法や読み取りに関する研究が行われてきたが、撮影者の意図を読み取るという観点が抜けている。メディア・リテラシー教育の立場から Masterman（1985）は「どんな写真にも、そこには、その時、そのアングルで、そのフィルムを選び、その構成をアレンジした写真家と言う見えない存在があることに注意を喚起しよう。それによって写真家は、『真実』を写すのではなく、自分が重要であると思うことを伝達している（宮崎 2010）」と述べ、視覚イメージを評価する上で、何を切り取るかという選択の問題は最重要事項であると指摘している。撮影者の意図を読み取ることを含めて、写真というメディアからの情報の収集の仕方を指導する必要があると考えられる。

そこで、本研究は、小学校高学年の児童の「写真を読み取る力」の育成を目的とした。

### 2. 本研究の構成

小学校高学年の児童の「写真を読み取る力」の育成を目的に、3つの研究を行った。

まず、写真を読み取る際の要素を検討した（研究1：手塚ほか 2022a）。次に、写真を読み取る力の育成を目指した学習プログラムの開発と評価を行った（研究2：手塚ほか 2022b）。そして、研究2の結果について個人内変容に着目して、写真から意図を読み取れるようになるために必要な指導を検討した（研究3：手塚ほか 2022c）。

### 3. 研究1：写真を読み取る際の要素の検討

#### 3.1 目的と方法

写真を読み取る際の要素を検討することを目的に、小学校高学年の児童 1074 名を対象に画像情報の読み取りに関する実態調査を実施した。具体的には、Google フォーム を使用し、2枚の画像について、「これは何を表した画像ですか」「画像のどこを見てそう考え

ましたか。できるだけくわしく書きましょう。」と自由記述で回答を求めた。そして、収集した自由記述のデータからコードを作成し、どのような要素に着目して画像情報を読み取っているかについてカテゴリを作成した。

### 3.2 結果と考察

画像情報の読み取りには、①画像情報から事実を取り出す、②取り出した事実をもとに画像情報を解釈する、③解釈した結果を批判的に読み解く、という3つの要素があることが示唆された。また、「事実」「状況」「意図」の順に対応づいたコード数が多かったことから、①そもそも画像情報から事実を取り出す段階で困難がある児童には、画像情報を構成する要素に注目できるようにする学習を行う必要があり、②次に、読み取った手がかり情報を関連づけて画像情報を正しく解釈する学習を行い、③最後に、制作者はどの立場から・誰に・何を伝えたいのかについて批判的に読み解く学習を行う、といった段階的な指導が必要であることが示唆された。

## 4. 研究2：写真を読み取る力の育成を目指した学習プログラムの開発と評価

### 4.1 目的と方法

写真を読み取る力の育成を目指した学習プログラムの開発と評価を目的に、研究1で検討した写真を読み取る際の3つの要素を用いて学習プログラムを開発し、小学校第6学年1学級21名の協力のもと実践を行った。具体的には、Google Jamboard に社会科の教科書に掲載されている写真を貼り、「Step1：何が写っていますか、青い付箋にできるだけたくさん書き出しましょう」と事実に着目させる発問、「Step2：Step1で書き出したものに対する考え（どんな様子を写しているか、どんな撮り方をしているか）を、赤い付箋に書きましょう」と状況と意図に着目させる発問を組み込んだ教材を作成し（図1）、1日1枚の写真の読み取りに関する学習を、休日を除く14日間継続した。写真の読み取りを行った結果は文章で記述することとし、Google フォーム を用いた。「写真を撮影した人は、『何を』『どのように』写すことによって、その様子を表現していると考えましたか？できるだけ詳しく文章で書きましょう。」と発問・指示を組み込んだ。写真の読み取りは家庭学習で行い、翌日の朝の会にて隣同士で共有し、学級担任が「事実」「状況」「意図」のすべ

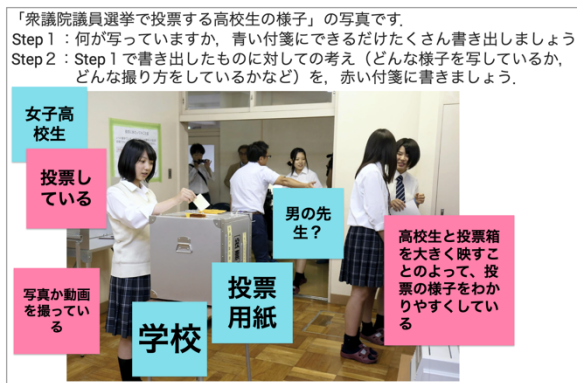


図1 教材例・回答例

てを取り出して読み取っていた児童の読み取り方を学級全体に共有した。14日分の回答は、「事実」「状況」「意図」に着目した個数を観点とした4段階のルーブリック（0点：事実・状況・意図のいずれも取り出せていない、1点：いずれか1つを取り出せている、2点：いずれか2つを取り出せている、3点：3つすべて取り出せている）に基づき、各回における評価の度数分

布表から中央値を求めて比較することにより、各回における写真を読み取る力の変化を検証した。

#### 4.2 結果と考察

写真を読み取る力の育成を目指した小学校第6学年児童向けの教材に繰り返し取り組む学習指導を全14回実施した結果、10回目から写真を読み取る力が向上した。事実・状況・意図の3つに着目して写真を読み取る学習指導を10回程度行うことにより、事実と状況のみに着目して写真を読み取っていた児童が、意図にも着目して写真を読み取ることができるようになることが示唆された。

### 5. 研究3：写真から意図を読み取れるようになるために必要な指導の検討

#### 5.1 目的と方法

児童が写真から意図を読み取れるようになるために必要な指導を検討することを目的に、研究2の結果について個人内変容に着目して分析した。具体的には、①1回目または2回目から3点で9回以上3点の児童(図2①)と②2点から3点に移行した児童(図2②)について、写真の読み取りを行った結果の記述の特徴を意図の読み取りを観点に分析した。

#### 5.2 結果と考察

①の児童は②の児童に比べ、1枚の写真から複数の意図を読み取っており、さらに、そのように意図して撮影する(写真の撮り方・切り取り方)ことの効果まで記述していた。

②のうち2名の児童は、途中まで特定の視点でしか意図を読み取ることができなかったが、ある時点から他の視点も獲得して以降、複数の視点から意図を読み取れるようになった。

その他2名の児童は、途中まで意図を読み取るための視点をもっていなかったが、ある時点から意図を読み取るための視点を獲得して以降、獲得した視点を活用して意図を読み取れるようになった。

このことから、写真を読み取る力の育成を目指した学習指導では、1)児童に撮影者の意図を読み取るための視点(写真の撮り方・切り取り方の工夫)を複数提示する、2)撮り方・切り取り方の効果を説明する必要があることが示唆された。

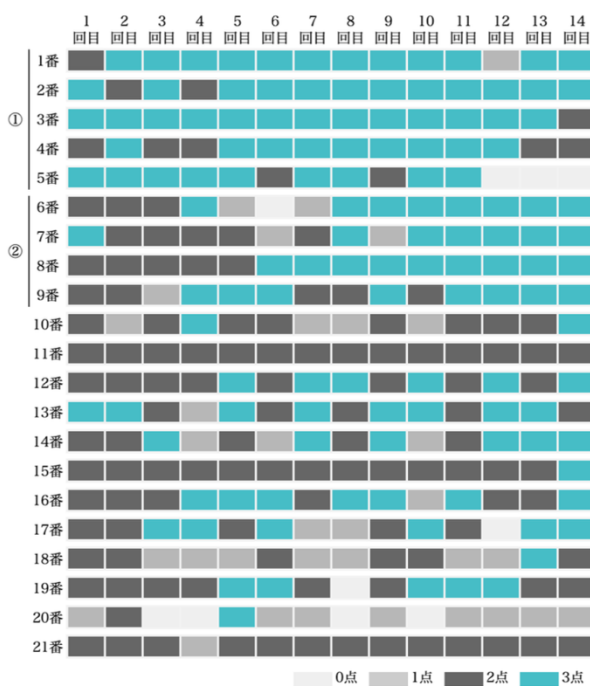


図2 個人内変容

### 6. 実践者としての振り返り

私はこれまで、先生方に実践を依頼して研究にしてきた。教育研究について田中(1991)は「授業という複雑であいまい

な事象を対象とする」ため「実践的環境を構成して測定研究を行うのでなければ、条件統制を厳密にした授業研究を繰り返し行うことは実質的に不可能であるし、学校に対しても多大な負担をかけることになる」と述べている。私は自ら立てた研究計画通りに実践してみて初めてこのことを実感した。同時に、子供たちや授業についての実感を伴った理解の無さ故に、これまで研究協力者の先生方に緻密さに欠ける研究計画の共有や実践依頼をしていたことを反省した。一方で、教師としての実践経験がない研究者は、実践経験の代わりに圧倒的に理論を知っている。今後は教師として、理論と実践を往還しながら教師としての実践力と研究者としての研究力の向上のために努力したい。

また、実践した学級の子供たちへ別途調査協力を依頼した際には、「わか先生が教えてくれた、発信者を確認するなどの注意をしている。わか先生、教えてくれてありがとう。」など、私の実践が子供たちに影響を与えていることがわかる声が多く届き、教師としてのやりがいを感じた。実践研究報告書に示したのは写真からの情報の収集に関する研究だが、私は広くメディアからの情報の収集についてメディア・リテラシーの観点から研究している（例えば、Tezuka et al 2022）。学び続け、専門分野を伸ばすことで、私にしか子供たちに与えられない価値を提供できる教師になりたい。

## 文 献

- MASTERMAN, L. (1985) *Teaching the Media*. (宮崎寿子訳 (2010) *メディアを教える - クリティカルなアプローチへ*. 世界思想社, 京都)
- 高橋純 (2022) *学び続ける力と問題解決・シンキング・レンズ, シンキング・サイクル. そして探究へ*. 東洋館, 東京
- 田中博之 (1991) *教育学の現状と研究課題 授業工学の発想から*. 大阪教育大学教育学教室 教育学論集, 20
- 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 大久保紀一郎, 久保田善彦, 堀田龍也, 谷塚光典 (2022a) *小学校高学年の児童の画像情報の読み解きの段階と特徴*. 日本教育工学会 2022 年春季全国大会 : 303-304
- 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 堀田龍也, 谷塚光典 (2022b) *写真を読み取る力の育成を目指した小学校第 6 学年児童向けの学習指導とその評価*. 日本教育工学会論文誌, 46 (Suppl.): 89-92
- 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 堀田龍也 (2022c) *写真を読み取る力の育成を目指した学習指導を繰り返し行うことによる個人内の変容に関する考察*. 日本教育工学会 2022 年秋季全国大会講演論文集 : 501-502
- Wakana Tezuka, Kazunori Sato, Kiichiro Okubo, Yoshihiko Kubota, Tatsuya Horita, Mitsunori Yatsuka (2022) *A Study on Critical Thinking on Biased Web Information among Sixth-Grade Elementary School Students in Japan*. International Conference for Media in Education ICoME2022 : 22038